

# 平成31年度教育行政方針



## **I はじめに**

## **II 学校教育の推進**

- 1 新しい時代に対応できる力の育成
- 2 豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進
- 3 育ちと学びを支える教育環境の充実
- 4 信頼と期待に応える開かれた学校づくり
- 5 緑陵高等学校の教育の充実
- 6 学校給食の充実

## **III 社会教育の推進**

- 1 生涯学習の充実
- 2 芸術・文化活動の推進
- 3 スポーツ活動の推進
- 4 図書館運営の充実

## **IV 子ども・子育て支援の推進**

- 1 子ども・子育て支援の充実
- 2 子育て相談体制の充実
- 3 放課後活動の充実
- 4 青少年健全育成の充実

## **V おわりに**

## I はじめに

教育は、人を育てることを通して、未来を創造する営みです。一人ひとりの可能性を最大限に広げ、伸ばし、より豊かな人生を過ごせるように働きかけていくことが教育の役割です。

また、子どもたちが将来に向けて夢や希望を描き続け、自らを高め、困難にもあきらめることなく立ち向かい、自分らしさを発揮して自己実現を図るとともに、他者と協働しながら社会に貢献する資質や能力を身につけることが教育には求められています。

そのことを念頭に置いて、岩見沢市教育大綱に基づき、市民の信頼に応える温かい、心のこもった教育行政を推進してまいります。

学校教育につきましては、「子どもが主人公になる岩見沢の教育づくり」に向けて、日常の授業を改善することによって、「授業づくりのまち岩見沢」の具現化を図り、子どもと保護者の期待や信頼に応えてまいります。

社会教育につきましては、「生涯にわたって主体的に学ぶ環境づくり」に向けて、生涯学習の場を大切にし、芸術、文化、スポーツの振興や推進および図書館運営の充実に努めてまいります。

子ども・子育て支援につきましては、「誰もが笑顔で子育てできるまちづくり」に向けて、「えみふる」の活用推進のほか、子どもの成長を記録するファイルを導入するとともに、各部署や機関が連携して、相談や支援が気軽に受けられる体制づくりを推進してまいります。

これより、本年度の施策の概要について述べてまいります。

## II 学校教育の推進

はじめに、「学校教育の推進」についてです。学校教育においては「子どもが主人公になる岩見沢の教育づくり」を推進してまいります。

### 1 新しい時代に対応できる力の育成

1点目は、「新しい時代に対応できる力の育成」についてです。

子どもが自ら未来を切り開いていくうえで必要な資質・能力を育成するために、「主体的・対話的で深い学び」を通して、確かな学力の定着を

図ってまいります。

そのため、小中学校において「教えて考えさせる」授業スタイルによる統一感のある授業改善を推進するとともに、学力向上の基盤となる「傾聴・受容・共感」の信頼関係に基づく学級集団づくりや学習スキルの向上による子どもたちの学びに向かう力の育成に努めてまいります。

また、カリキュラム・マネジメントを通じた教育課程の工夫・改善や小中連携による一貫した教育活動の展開など、学校の組織的な学力向上の取組みを推進してまいります。

さらにICTを活用した効果的な指導と情報活用能力を高める教育活動を推進するとともに、外国語指導助手を有効に活用するなど、「英語が話せる岩見沢の子ども」の育成に向けて、外国語教育の充実を図ってまいります。

大学の教員による出前授業や協力授業など、北海道教育大学岩見沢校との連携を図った教育活動を推進するとともに、学校が企画・立案する学力向上に向けた取組みを積極的に支援してまいります。

## 2 豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進

2点目は、「豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進」についてです。

子どもたちに豊かな人間性を育成するため、ピア・サポートの取組みにより自尊感情や自己有用感を育むとともに、自己の成長を実感し、誰もが達成感を持てる授業づくりや子どもに寄り添う積極的な生徒指導の推進に努めてまいります。

子どもたちがふるさとに愛着を持ち、岩見沢で生まれ育ったことに誇りを持てるよう「ふるさと教育」を推進してまいります。また、道徳教育の充実を図り、命を大切に作る心や美しいものに感動する心、礼節や規範意識などを育てる「心の教育」を推進してまいります。

さらに、体験活動や読書活動の充実を図り、豊かな感性や想像力を育ててまいります。

子どもたちに健やかな体を育成するため、すべての学年で新体力テストを実施し、体育の授業改善と、体力づくりの取組みを通して、体力向上

や運動の習慣化を推進してまいります。

また、「早寝・早起き・朝ごはん運動」や「家庭での5つの約束」を基本とした活動を展開し、望ましい学習・生活・運動習慣、食習慣などを身に付けさせる取組みを推進してまいります。

さらに、薬物乱用防止教育や防災教育の充実を図り、自らの判断で自分の命を守ることでできる力を養ってまいります。

### 3 育ちと学びを支える教育環境の充実

3点目は、「育ちと学びを支える教育環境の充実」についてです。

「岩見沢市いじめ防止基本方針」に基づく「岩見沢市いじめ問題対策連絡協議会」等の組織や「教育支援センター」及び「登校支援室」が連携し、いじめや不登校の問題をはじめ、悩み・不安を持つ子どもや保護者、学校を支援してまいります。

特別支援教育支援員や学校看護師の配置などにより、子ども一人ひとりの発達を保障する特別支援教育の充実に努めるとともに、将来の生き方や望ましい職業観・勤労観を育むキャリア教育を一層推進してまいります。

また、学習塾との連携による土曜学習会、英検学習会、囲碁の授業、長期休業中の「学び合い広場」など、多様な学ぶ場と機会を提供してまいります。

教育研究所では、学力・体力の向上、教師力・学校力の向上、地域や大学との連携など、教育効果を高めることに重点を置いて「調査・研究」「養成・研修」機能を強化してまいります。

教員の実践的指導力を高め「教えるプロ」としての専門的力量を発揮できるように、資質・能力の向上を図る各種研修を実施するとともに、学校における業務の見直し・改善を推進してまいります。

また、児童生徒数の減少が見込まれる将来において、地域性に応じた特色ある学校づくりや適正な規模による学校教育が行われるよう検討してまいります。

学校施設の老朽化対策や児童見守りシステムの積極的な活用などに取り組み、教育環境の充実を図ってまいります。

#### 4 信頼と期待に応える開かれた学校づくり

4点目は、「信頼と期待に応える開かれた学校づくり」についてです。

子どもたちに、未来を生き抜くために必要な資質・能力を育むため、学校において「社会に開かれた教育課程」の実現に努め、教育活動や学校運営の改善・充実を図ってまいります。

また、コミュニティ・スクールの拡大や地域ボランティアの活用などにより、学校・家庭・地域が連携・協働した教育活動の推進に努めてまいります。

さらに、各校種間での連携・交流を促進し、学びの連続性を大切にした教育活動を展開してまいります。

#### 5 緑陵高等学校の教育の充実

5点目は、「緑陵高等学校の教育の充実」についてです。

市立高校として、地域のよさを学び地域社会の発展に貢献できる人材育成を目指し、家庭や地域社会と連携を図りながら、ICT環境や英語教育の充実など創意工夫に富んだ質の高い教育を提供し、生徒の社会参画意識を醸成してまいります。

また、普通科「普通コース」と「スポーツ総合コース」、情報コミュニケーション科それぞれの特色を活かして、選択幅の広い教育課程を編成・実施し、生徒の多様な進路に対応するとともに、将来の自己実現に向けた資質・能力を育成する、活力と特色ある学校づくりを推進してまいります。

#### 6 学校給食の充実

6点目は、「学校給食の充実」についてです。

学校給食共同調理所においてHACCPに基づいた食品の衛生管理を徹底するとともに、新鮮で安全な地元産の食材を積極的に活用し、安全・安心で子どもたちが健やかに成長できる学校給食に取り組んでまいります。

また、共同調理所の施設機能の活用を図り、見学等を通じて子どもたちが食に関する正しい知識を習得し、望ましい食習慣を身につけることが

できるよう、食育の充実に取り組んでまいります。

食物アレルギーにつきましては、子どもの命と健康を守ることを最優先に、牛乳や主食での対応に加え、副食のアレルギー対応につきましても、家庭や学校と連携して取り組み、安全で喜ばれる給食の提供に努めてまいります。

また、市民が学校給食を身近なものとして感じ、理解を深めていただけるよう、定期的な試食会や施設見学などに引き続き取り組んでまいります。

### III 社会教育の推進

次に、「社会教育の推進」についてです。社会教育においては「生涯にわたって主体的に学ぶ環境づくり」を推進してまいります。

#### 1 生涯学習の充実

1点目は、「生涯学習の充実」についてです。

子どもから高齢者までの全世代が生涯にわたって学ぶことの楽しさを感じ、生きがいのある豊かな生活を送るため、興味・関心に応じた自由な学習活動ができるよう、生涯学習センターを拠点に「いわなびチャレンジスクール」、「いわみざわ市民大学」、「高齢者対象講座」の開催など、多様な学習機会の充実を努めてまいります。

また、市民の自主的な学習活動に対して、人材バンク登録者を紹介するなど、積極的に支援してまいります。

#### 2 芸術・文化活動の推進

2点目は、「芸術・文化活動の推進」についてです。

芸術文化は、豊かな創造性や感受性を育み、人々の生活に潤いと活力をもたらします。

芸術文化の鑑賞機会や活動機会の充実を図るため、岩見沢文化連盟や北海道教育大学などと連携し、「市民の文化祭」をはじめ、まなみーるや絵画ホールなどでの各種事業の実施に取り組むとともに、文化団体の活



動や全国大会出場者に対する支援などに取り組んでまいります。

また、郷土の歴史文化に触れる企画展や講座の開催などにより、その理解と関心を深めるとともに、岩見沢郷土科学館につきましては、資料の展示方法等の見直しに取り組むなど、文化遺産の保存・継承と活用に努めてまいります。

### 3 スポーツ活動の推進

3点目は、「スポーツ活動の推進」についてです。

生涯を通じて誰もがスポーツに親しみ、充実した活動ができるよう、岩見沢市体育協会やスポーツ推進委員などと連携し、「楽しいキッズスポーツ教室」や「ウォーキングマラソン大会」の開催など、体を動かす機会の充実に努めてまいります。

また、各種スポーツ団体の活動や全国大会出場者、アスリートとして将来を期待される子どもたちを支援するとともに、スポーツ施設の安全で快適な環境づくりに取り組んでまいります。

さらに、北海道教育大学との連携のもと、引き続き、東京パラリンピック競技の合宿誘致の取組みを進めるとともに、誰もが適性に応じて楽しめる「アダプテッド・スポーツ」の体験機会を通して、障がい者スポーツの普及・促進を図ってまいります。

### 4 図書館運営の充実

4点目は、「図書館運営の充実」についてです。

図書館は、地域の知の拠点として図書、記録、資料などの計画的な収集・整備に努め、司書の専門性を活かして、誰もが知識や情報を得ることができる環境を整えてまいります。

また「いわみざわの子ども読書プラン」に基づき、「どくしょノート」の活用や学校図書館との連携など、子どもたちが本に触れる機会を広げるとともに、市民団体などと連携して、幅広い世代の読書活動や学びを支援してまいります。

## IV 子ども・子育て支援の推進

次に、「子ども・子育て支援の推進」についてです。すべての子どもと保護者が、将来に希望が持てるよう「誰もが笑顔で子育てできるまちづくり」を推進してまいります。

### 1 子ども・子育て支援の充実

1点目は、「子ども・子育て支援の充実」についてです。

子どもたちが健やかに成長し、楽しく子育てができるまちを目指して、「岩見沢市子ども・子育てプラン」に基づき、取組みを進めるとともに、市民の皆さんの意見をお聞きしながら、次の5年間にに向けたプランの策定を行います。

こども・子育てひろば「えみふる」では、あそびの広場を含めた各部門が連携して支援に努めるとともに、ファミリー・サポート・センターを通して子育ての相互援助活動を実施いたします。

保育と幼児教育については、一時預かりや病児・病後児保育事業など多様な保育を実施するとともに、引き続き、第2子、第3子保育料を無料とするなど、「このまちで、子どもを産み、育てたい」という思いに応える環境づくりに取り組んでまいります。

### 2 子育て相談体制の充実

2点目は、「子育て相談体制の充実」についてです。

子育て支援センターに療育相談機能を加えた、子育て総合支援センターが中心となり、いつでも気軽に相談や支援が受けられるよう、「えみふる」の各部門及び児童相談所等関係機関が連携・協力して、子育て相談体制の充実を図ってまいります。

また、子どもの成長記録を保存し、必要に応じて支援に役立てることができるよう、1歳6か月健診を受診するすべての子どもに成長記録ファイルを配布し、子どもの成長を支えてまいります。

### 3 放課後活動の充実

3点目は、「放課後活動の充実」についてです。

子どもたちに遊びと生活の場を提供する児童館を運営するほか、留守家庭の小学生が利用する放課後児童クラブでは、異年齢交流や地域の特色を取り入れた体験活動に取り組み、メープル小学校においては、地域スポーツクラブと連携し、新たに放課後教室を開設するなど子どもの成長を支え、子育てを支援してまいります。

### 4 青少年健全育成の充実

4点目は、「青少年健全育成の充実」についてです。

岩見沢市地域子ども会育成会連合会などの関係団体と連携し、さまざまな体験活動に取り組むとともに、青少年センターを中心に、学校・家庭・地域の協力を得ながら、街頭補導や有害環境の改善に努めてまいります。

また、「携帯・スマホのきまり」を作成し、子どもたちが自ら考え、正しく行動できるよう、学校や家庭と協力して、情報モラル教育やメディアリテラシーの向上に取り組んでまいります。

## V おわりに

教育は人を幸せにする営みです。

「岩見沢で子育てがしたい」「岩見沢で学びたい」「岩見沢に住みたい」と誰もが思え、コミュニティの形成にも貢献する教育施策の推進に努めてまいります。

議員の皆さま、市民の皆さまのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。